

市場調査とセミナー

首都圏MP輸出促進協

首都圏ミートパッカー

輸出推進協議会(代表理

事)阿部昌史・(株)ミート

・コンパニオン社長)は

11月14、16日にかけて、台

湾での市場調査および和



台湾で和牛のPRなどを
行った

牛普及セミナーを開催し
た。台湾向けには昨年秋
に日本産牛肉の輸出が解

禁され、堅調な
伸びが続いてい
る。

今回、同協議

会からは5人が

参加し、台湾の

大手商社の精肉

売り場やスーパ

ーマーケットの

視察を皮切りに、

新北市内で

和牛セミナーを

実施。セミナー

には現地商社およびス

ーパーマーケットのバイヤ

ー、鉄板焼きおよびフレ

ンチレストランのシェフ

ら25人が参加し、台湾料

理レストランを貸し切っ

て開催された。

開会のあいさつで阿部

代表理事は、海外でのジ

ヤパンブランド確立の重

要性と和牛統一マークな

ど本物の日本産和牛だと

分かる表示、流通方法確

保の必要性などについて

言及。セミナーでは協議

会から2人が講演を行

い、和牛の生産肥育管

理、格付制度など、日本

特有の和牛の個体管理の

重要性と、各部位の特徴

を生かした調理方法など

を紹介した。

また、諸外国における

日本産牛肉の需要動向に

ついて説明。それに伴

い、牛肉のセット買いに

よるコストダウンの提案

や、和牛以外の交雑種な

どの品種の良さを紹介し

た。講演後には、来場者

全員が参加して熱心なデ

ィスカッションが行われ

るなど、日本産和牛への

関心の高さがうかがえ

た。

同協議会では今回の台

湾でのセミナーを通じ、

「今後の日本産牛肉の台

湾輸出へのさらなる弾み

がつかいと実感した。需

要の高まる来年2月の旧

正月に向けて、さらに輸

出が増加することを期待

する」としている。